

環境省 持続可能な開発目標（SDGs）活用した
地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業
＜2カ年事業計画＞

道東SDGs広域パートナーシップ まちづくりプロジェクト

道東SDGs推進協議会

2018.08.

①- 1 地域課題の整理

■地域の状況や課題背景

- 対象地域は北海道の東（道東）に位置する根室市・別海町・中標津町・羅臼町・標津町・浜中町とする。
（1市5町合計の人口:約81,500人、第1次産業就業者数:約11,600人 面積:3,965km²≒長崎県
（4,105km²）内 訳は※を参照）基幹産業は第1次産業。
- 日本一の規模（生乳生産量は全国の約1割）を誇る道東の酪農・畜産業において、中標津町を中心に酪農の価値を創造する「中標津素材感覚」があり、経営規模が違う等多様な酪農家が協働で事業を行ってきた。
- 2018年5月、道東のまちづくりに関わる様々な課題を解決をするためのプラットフォームを目指し「道東SDGs推進協議会」が設立された。上記の流れから現在は酪農家のメンバーが多く、酪農・畜産業における現状や課題が把握され、協働体制があることから、本事業では2年間で酪農業に関わる課題（担い手不足、環境への対策等）の解決を始めに取り組む。担い手不足は、少子高齢化だけが問題ではなく産業へのイメージアップが必要である。
- また、道東において様々な協働が実施されており、例えば、中標津町では景観学習を切り口に市街地の住民や第1次産業（酪農）等による協働事業がある。他の分野や地域においても利害関係が同じテーブルにつき課題解決のための協働をサポートするプラットフォームが必要である。

市町名	人口 (人)	第1次産業就 業者数(人)	面積 (km ²)
根室市	約26,500	約2,700	512
別海町	約15,400	約3,300	1,320
中標津町	約23,700	約1,500	685
羅臼町	約5,200	約1,200	397
標津町	約5,300	約900	624
浜中町	約5,900	約2,000	427

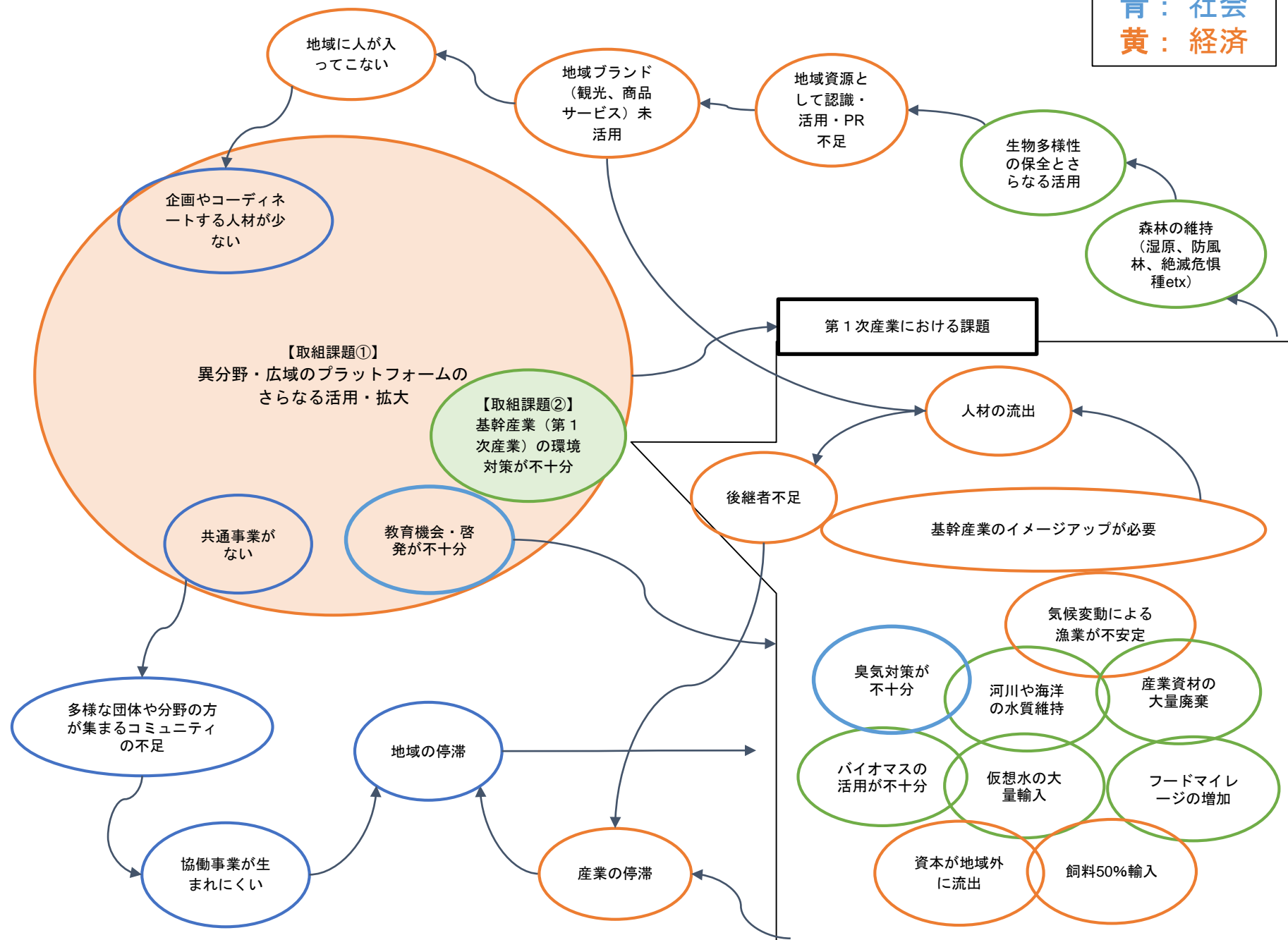
■何と何の地域課題の解決に取り組むか

1. 異分野・広域のプラットフォームのさらなる活用・拡大
2. 基幹産業（第1次産業）の環境対策が不十分

※内訳（出典：北海道根室総合振興局根室統計書、浜中町ウェブサイト）

①-2 地域課題の整理（課題と課題の関係図） ※①-1を明示してください。

緑：環境
青：社会
黄：経済



② 事業の整理（同時解決マップ）

最終目標

【解決した地域の状態】

- ・道東SDGs推進協議会が仲立ちとなり、誰ひとり取り残さない多様な価値観を持つ市民・団体・公益事業者・各種産業による持続可能なまちづくりの基盤となるコミュニティの形成
- ・豊かな自然と、酪農や水産業などの地域産業を組み合わせた新たな観光産業の推進による地域循環共生圏の確立
- ・MSC/ASC等の認証や統一ロゴによるブランディング等持続可能な産業へ発展
- ・地域産業が活性化され、若者や諸地域からの評価が高まることでU/I/Jターンの促進に繋がり、人口増加へつながる
- ・上記を実現させるために主体的に活動できる人財の養成と確保、子どもや高齢者、障害者も含めた地域住民となる



この取組（5年間）で何を指すか

・酪農/畜産/農業水産業が連携し、より環境に配慮した連携型地域産業が始まっている

・道東SDGs推進協議会が仲立ちとなるプラットフォームづくりに向け、持続可能なまちづくりの基盤となるコミュニティ形成の関係者が増えている

2カ年の成果目標

・自治体の枠を越えた道東の課題解決に向けたアクションプランが作られ、新たな関係主体とコミュニケーションが生まれる

・地域住民と関係団体等が地域の現状について理解が高まり、暮らしの中でSDGs達成に向けた取り組みが行われる

・道東における第1次産業の特徴と課題が明確化され、その解決策としてSDGsを活用した課題の同時解決事業の実施に取り掛かっている



取組のアイデア

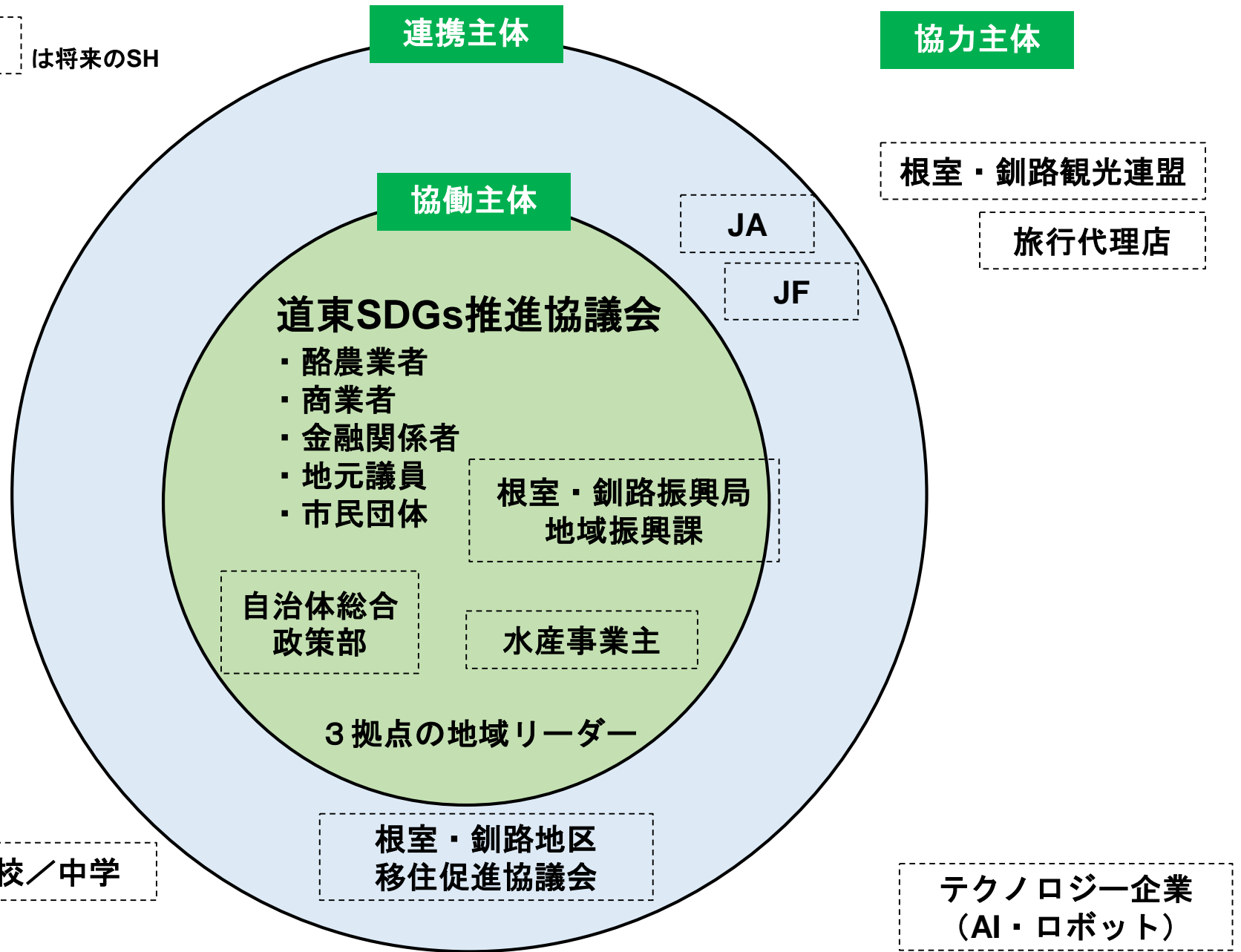
・道東3拠点（中標津町、別海町、浜中町）において、推進力をもつリーダーにより、環境/社会/経済の課題出しや解決策を議論するワークショップを創出する
 ・各拠点のリーダーを中心にアクションプランを立案、資金面の確保等実現に向けた方策を検討する

・左記のワークショップの内容をまとめ、冊子やWEBサイト上のコンテンツにし、地域内/地域外の若者や学生にPRする

・地域の産業と環境について地域住民が世代/自治体を越えてコミュニケーションを取る場を創出する

③ 運営体制の整理（ステークホルダーとの関係性）

は将来のSH



協力主体

④ 平成30年度末までの到達目標

項目	目標 (課題に対してどの程度解決に繋がる取組が進められるか)
<p>【取組課題①】 基幹産業（第一次産業）の環境対策が不十分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道東地域3拠点（中標津町、別海町、浜中町）の環境課題/経済課題/社会課題の同時解決をする事業やイノベーションアイデアを募るワークショップの開催。また、その中で道東地域の自然資本や地域産業資源を活かしたサステナブルツーリズムを検討。
<p>【取組課題②】 異分野・広域のプラットフォームが不十分であり、全体のビジョンがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道東地域3拠点（中標津町、別海町、浜中町）の環境課題/経済課題/社会課題の同時解決をする事業やイノベーションアイデアを募るワークショップの開催。また、その中で道東地域の自然資本や地域産業資源を活かしたサステナブルツーリズムを検討。（①と同じ） ・多様な産業が相互に関連した広域連携エリアのアクションプランの策定 ・道東SDGs推進協議会のWEBサイト上でワークショップの内容や制作物（動画等）をまとめた資料一般公開

⑤ 本事業計画の見通し

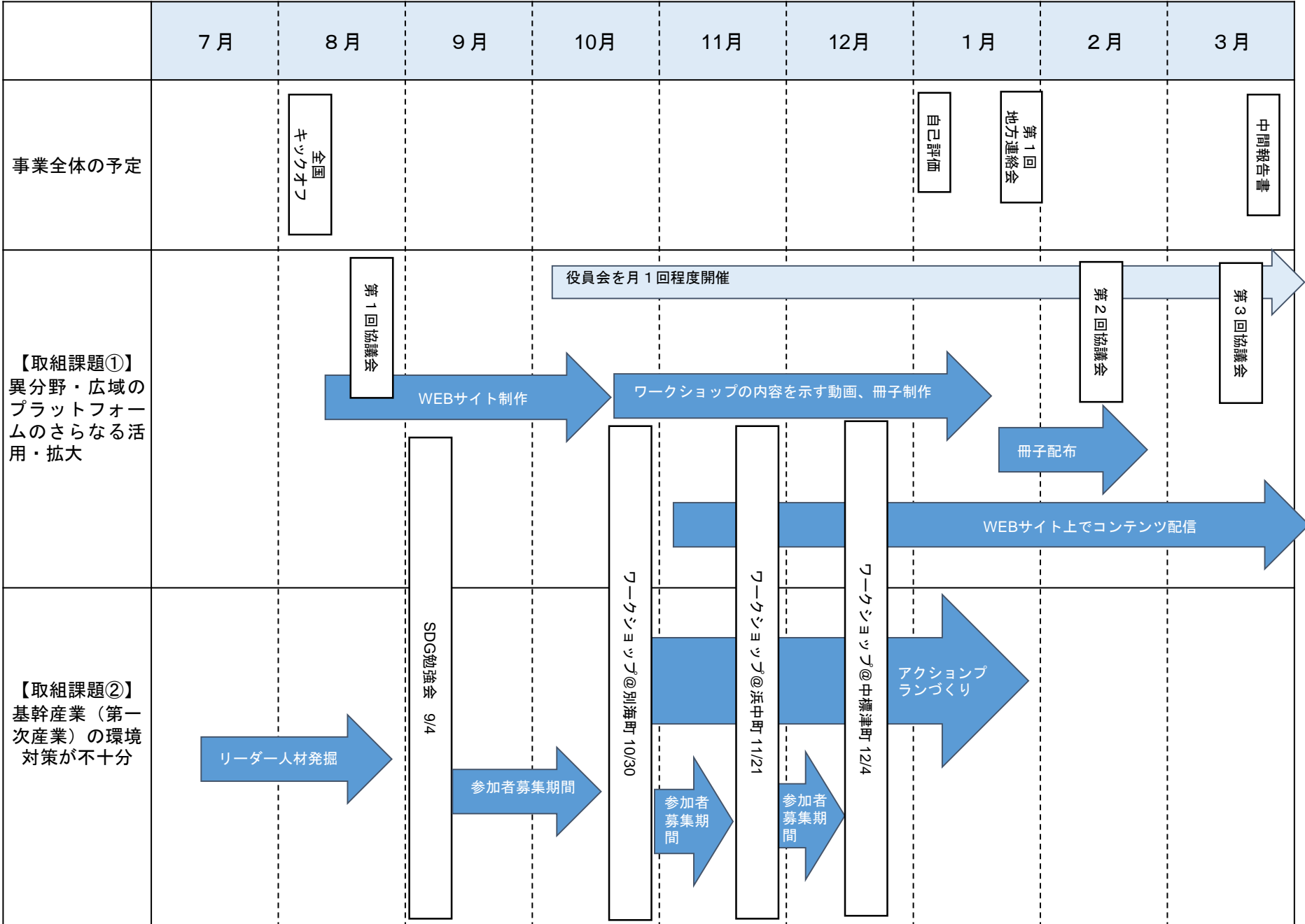
■事業期間内（2ヵ年）の到達目標

項目	目標 (課題に対してどの程度解決に繋がる取組が進められるか)
<p>【取組課題①】 基幹産業（第一次産業）の環境対策が不十分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道東地域3拠点（根室市、羅臼町、標津町）の環境課題/経済課題/社会課題の同時解決をする事業やイノベーションアイデアを募るワークショップの開催。また、その中で道東地域の自然資本や地域産業資源を活かしたサステナブルツーリズムを検討。 ・ 前年度に上記ワークショップで提案された事業内容の経過報告
<p>【取組課題②】 異分野・広域のプラットフォームが不十分であり、全体のビジョンがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道東地域3拠点（根室市、羅臼町、標津町）の環境課題/経済課題/社会課題の同時解決をする事業やイノベーションアイデアを募るワークショップの開催。また、その中で道東地域の自然資本や地域産業資源を活かしたサステナブルツーリズムを検討。（①と同じ） ・ 前年度に上記ワークショップで提案された事業内容の経過報告（①と同じ） ・ 前年度から作成を始めた広域連携エリアのアクションプランを主な関係団体に配布

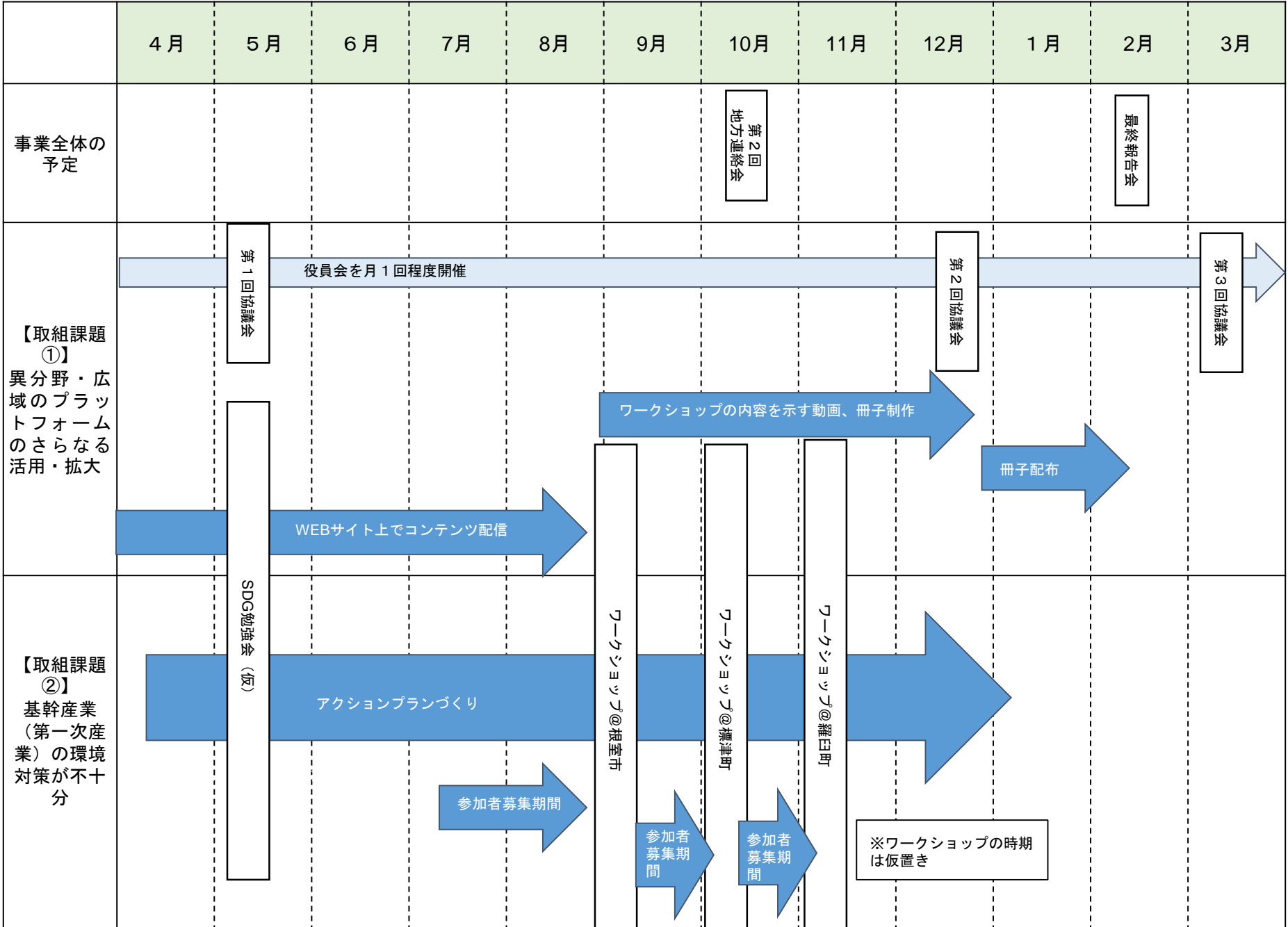
■5年後（事業期間終了から3年後）の取組と地域像

取組の状況や地域課題に対してどのような影響を与えているか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道東SDGs推進協議会が仲立ちとなるプラットフォームづくりに向け、持続可能なまちづくりの基盤となるコミュニティ形成の関係者が増えている ・ 酪農/畜産/農業水産業が連携し、より環境に配慮した連携型地域産業が始まっている

⑥-1 課題解決に向けたスケジュール（平成30年度）



⑥-2 課題解決に向けたスケジュール（平成31年度）



⑦ その他補足事項

■事業を進める上での課題やリスクとその対策

- ・事業の進展に合わせて道東SDGs推進協議会の体制を柔軟に変更していく必要がある
 - ⇒SDGsのオープンプロセスに基づき誰もが情報へアクセスが可能で取り組みに参加しやすい環境づくりを考えていく
 - ⇒関係者の特性に合わせて事業推進体制を柔軟に変化させていく
 - ⇒広域によるコミュニケーションの方法として対面だけではなく、テレビ会議等ICT技術も活用していく

■その他、留意事項などがあればお書きください

・